

SASUKE LIBRARY
町立
指江図書館

TEL0996-88-6500



**まんが
鹿児島弁
がつついコイも**

大吉千明 絵・文

気持ちがこもっちゃれば良か
とごわす。思わず使いたくなる
懐かしい鹿児島弁に知らなかつ
た鹿児島弁。絵入りで紹介して
います。

TAKANOSU LIBRARY
町立
鷹巣図書館

TEL0996-86-1111



**おさるのジョージ
としよかんへいく**

M & H・A・レイ 作

初めての図書館にわくわくす
るおさるのジョージ。面白そう
な本を見つけては、次々と集め
ていきますが…。

町立図書館おすすめ
新刊紹介

図書館においてある最新本の中から
おすすめのことをピックアップ。
バラエティに富んだ新刊をご紹介します。

Pick Up New publication

長島
文芸

Nagashima Bungai
ながしまぶんげい

明神俳句会

筆始まづ龍の字を踊らする
御降り（おろり）のほどよきしめり漁師町
歟（あや）始め飢（う）凌（よ）ぎ来（き）し握（に）り肝（かん）脈（みやく）
初（はつ）景色（しき）ひと山（やま）越（こ）えれば父（ちち）母（はは）の里（さと）
えんぴつのほどよき尖（と）り初（はつ）句（く）会（かい）
柏（かしわ）手を（て）大きく天（あま）へ歟（あや）始（はじめ）
書（か）初（はつ）や小（こ）さな願（ねが）ひ太（た）筆（ひ）で
出（で）初（はつ）式（しき）放（は）水（すい）の弧（こ）に虹（にじ）の橋（はし）
初（はつ）景（けい）色（しき）日（ひ）の丸（まる）掲（か）げぐ商（しょう）店（てん）街（がい）
妻（つま）どこの天（あま）下（か）の年（とし）がまた明（あ）く

長島短歌会

鳴（な）きながら二（に）三（さん）羽（は）の鶴（つる）群（ぐん）が旋（ま）回（わい）しつづ冬（ふゆ）空（そら）に消（き）
ゆ
春（はる）の光（ひかり）溢（あふ）れる窓（まど）に水（みづ）仙（せん）を束（たば）ねて活（い）くる香（か）の部（ぶ）屋（や）に
満（み）つ
音（ね）もなく時（とき）雨（あめ）は雪（ゆき）に交（ま）じりつづ南（みな）天（てん）の紅（もみ）葉（は）しずめて
真（ま）昼（ひる）
待（まち）ち侘（わ）びし白（しろ）梅（うめ）咲（さ）き初（はつ）む寒（せむ）き朝（あ）粉（こな）雪（ゆき）舞（ま）ひて花（はな）と紛（ま）
ひぬ
不（ふ）知（ち）火（か）の海（うみ）を照（あ）らせしこの月（つき）も老（お）ひて対（たい）へば思（おも）ひ
侘（わ）びしき
椿（つばき）木（き）に花（はな）咲（さ）き満（み）ちて鴨（鴨）の啼（な）く声（こゑ）風（かぜ）立（た）つ庭（にわ）に聞（き）ゆる
霧（霧）降（ふ）りかじかむ朝（あ）に水（みづ）仙（せん）の床（とこ）しき香（か）り仏（ぶつ）間（ま）に供（く）
ふ
窓（まど）ごしの梅（うめ）は紅（べに）深（こ）く見（み）ゆ降（ふ）りしきる雪（ゆき）にほころび
初（はつ）め

創生短歌会

七（しち）十（じゅう）四（し）年（ねん）の生（なま）は短（たん）し街（まち）に出（で）て春（はる）に成（な）るままでの信（しん）号（ごう）
長（なが）し
七（しち）転（てん）び八（はち）起（おこ）し、七（しち）転（てん）び八（はち）起（おこ）しと心（こゝろ）中（ちゆう）に念（ねん）じて寒（せむ）き冬（ふゆ）を
逝（い）か（し）む
輕（かろ）率（そつ）な所（ところ）あつたとわが死（し）後（ご）の風（かぜ）評（ひやう）などもひと時（とき）の
事（こと）
あたたかき飯（い）に卵（たまご）を（か）けて食（た）べ庭（にわ）鳥（とり）が呉（くれ）れし今日（けふ）
の幸（さい）せ
平（へい）等（とう）の負（おん）として誰（たれ）にでもや（つ）つて来（き）る死（し）なれど順（じゆん）番（ばん）
不（ふ）定（てい）確（かく）にて
飲（い）食（じき）の機（き）能（のう）失（し）せたる姑（こ）の頬（ほ）さわりて生（なま）死（し）の如（ごと）くを
確（かく）む
又（また）一（いつ）つガソリン（ガソリン）ス（スタ）ン（ド）の灯（あかり）の消（き）えて昔（むかし）の榮（さか）華（か）こ
こにも終（お）る

一般作品

痛（いた）む足（あし）寒（さ）くなる成（な）り直（ただ）痛（いた）む年（とし）取（と）れば良（よ）い事（こと）な
き
梅（うめ）の芽（こゝろ）をつつきに鴨（鴨）遠（とほ）慮（り）気（き）味（み）花（はな）咲（さ）くま（で）にハ
ラハ
眺（なが）む
紅（べに）梅（うめ）も白（しろ）梅（うめ）とも咲（さ）き初（はつ）むる
宗（むね）方（かた） 清（きよ）明（めい）